

YANASE The Bodyshop Network 技術大会 2014 開催！



【開会式】

弊社は、12月1日（月）神奈川県横浜市にあるヤナセオートシステムズ BP センター横浜にて、第一回「YANASE The Bodyshop Network 技術大会 2014」を開催しました。全国にある弊社の9内製工場から板金・塗装の代表者2人が出場し、日頃の成果と技術レベルを競いました。

今回の技術大会は、弊社メカニックの技術レベル向上と弊社の技術向上への取り組みをお取引先様へご紹介することを目的としました。

大会当日は、雨の降る寒い中、輸入車インポーター様、損害保険会社様、契約工場様や自動車大学校関係者様並びに報道関係者様も含め、179名の方にご来場いただきました。



【塗装競技会場】

団体・業界名	人数
輸入車インポーター	24
損害保険会社	31
板金・塗装工場	25
自動車大学校	6
ヤナセ関係者	23
報道関係者	11
大会審査員	14
業者スタッフ	6
その他団体・企業	39
合計	179

競技は、「板金部門」と「塗装部門」に分かれ、全国のBPセンター代表者2名がそれぞれの部門で与えられた実技課題に取り組む『実技競技』と基礎知識及び専門・応用知識の理解度をチェックする『筆記試験』の総合得点で競いました。

また、BPセンター毎に板金・塗装代表者の得点を合計し競う「チーム戦」も行いました。

「塗装部門の実技競技」は、色見本パネルを元に色を調合する「調色競技」と実際に調色した色をボンネットに塗装する「上塗り競技」を行いました。実技競技時間は70分ですが、環境に配慮した水性塗料を既に使用しているBPセンター三郷とBPセンター茨木については、乾燥時間を考慮し90分で競技を行いました。

使用したパネルは、メルセデス・ベンツAクラス（W168）のボンネットを使用し、事前に下地処理した状態から、課題色のポーラーシルバー（メルセデス・ベンツ カラーコード9761）に塗装しました。

第一競技の「調色競技」は、色見本パネルを基に調色作業を行い、調色時の作業工程等を審査しました。

- ① 安全保護具の使用状況
- ② 使用工具の手入れや整理の確認
- ③ 調色回数
- ④ 比色の状況
- ⑤ 使用した原色の数
- ⑥ 調色した塗料をスプレーガンに注入する動作の確認
- ⑦ 測色器による見本パネルと調色した塗料との差異の計測

第二競技の「上塗り競技」は、調色した塗料をボンネットに塗装した時の作業工程及び完成度合いを審査しました。

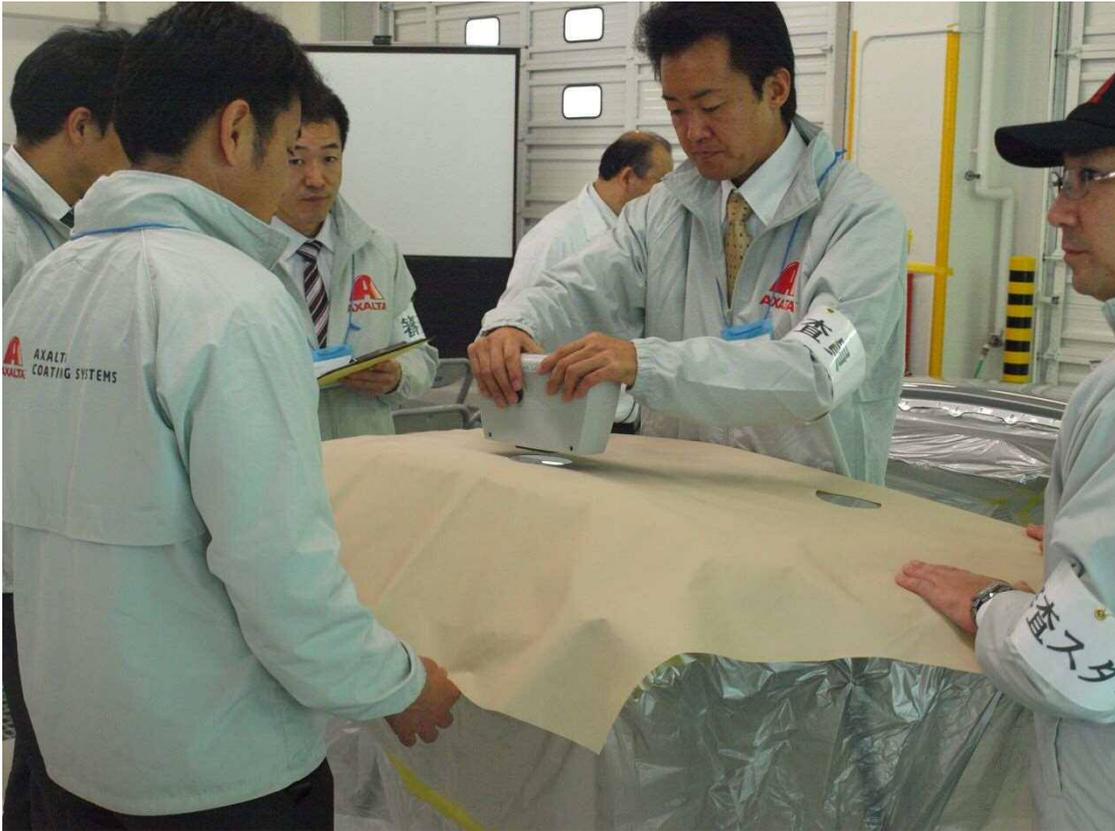
- ① 安全保護具の使用状況
- ② スプレーガンの使用状態やトリガーのON・OFFの状態などの作業工程
- ③ 完成したボンネットの色の再現性や塗装肌の確認
- ④ 測定器を使用した塗装状態の均一性及び塗膜厚の確認（メーカー基準数値）
- ⑤ 指定場所内でのゴミの付着状態の確認



【調色競技】



【上塗り競技】



【測色機による色の再現性の審査】

「板金部門」の実技試験は、フェンダーアーチ部のプレスラインにできた凹みをドリーとハンマーを使用して復元する「ハンマリング競技」とあらかじめ切断した箇所をつなぐ「溶接競技」を行いました。

使用したパネルは、メルセデス・ベンツCLAの右リアフェンダーでした。パネルは実際の車両と同じ高さに固定したため、日頃作業している姿勢や様子を見ることができました。

第一競技の「ハンマリング競技」は、プレスライン上の凹みをハンマーとドリーでどこまで元の形に復元できたか、またその作業工程等を審査しました。

- ① 安全保護具の使用状況
- ② 使用工具の使い方や姿勢などの作業工程
- ③ プレスラインの復元度合
- ④ 板金作業の面積
- ⑤ 平面及び曲面の歪みの修正度合

第二競技の「溶接競技」は、メーカー作業指示書に則った箇所で予め切断したリアフェンダーの隙間を半自動溶接機で溶接する競技を行いました。その溶接作業の工程や溶接状態、熱によるパネルへの影響度合い（歪み）などを審査しました。

- ① 安全保護具の使用状況及び安全に対する配慮
- ② 作業マニュアルの確認や溶接前の作業工程
- ③ 溶接機の使用方法
- ④ 溶接部分の歪み度合

⑤ 溶接ビードの高さ、幅、連続性及び巣穴の有無など



【ハンマリング競技】



【溶接競技】



【溶接部分の歪み測定】



【平面及び曲面の歪みの測定】

筆記試験は、各分野の基礎知識はもとより、専門・応用知識、使用する装置・機器関連及びコンプライアンスに至るまで、板金、塗装にかかわる幅広い分野における問題を出題しました。



【筆記試験会場】

「YANASE The Bodyshop Network 技術大会 2014」結果発表

板金部門 1 位：B Pセンター三郷 森本徹さん、 塗装部門 1 位：B Pセンター三郷 須田有一さん
板金部門 2 位：B Pセンター岡山 岡井良太さん、 塗装部門 2 位：B Pセンター茨木 岡平拓也さん
板金部門 3 位：B Pセンター小牧 渡辺崇さん、 塗装部門 3 位：B Pセンター福岡 太田敬二さん
敢闘賞（3名）：B Pセンター芝浦 石川晃一さん、B Pセンター札幌 佐々木敏文さん
B Pセンター仙台 須郷穰さん



【板金、塗装部門第1位の選手へ菊池社長から記念の盾を授与】

（左側から森本さん、須田さん、菊池社長）

チーム賞

最優秀賞：B Pセンター三郷（尾形謙介所長、板金森本徹さん、塗装須田有一さん）

優秀賞：B Pセンター茨木（小野博之所長、板金静憲一さん、塗装岡平拓也さん）

敢闘賞：B Pセンター岡山（谷口晃所長、板金岡井良太さん、塗装西郷隆裕さん）



【最優秀チームへ菊池社長から優勝カップと記念の盾を授与】

（左側から森本さん、須田さん、尾形所長、菊池社長）

栄えある第一回優勝者は、板金・塗装部門共にB Pセンター三郷の代表者が1位となり、最優秀チームもB Pセンター三郷が獲得しました。2013年4月に新設し北関東と千葉県、新潟県を担当するB Pセンター三郷が上位を独占する結果となりました。特に、今回塗装部門で1位、2位となったB Pセンター三郷の須田さん、B Pセンター岡平さんが使用した塗料は環境にやさしい水性塗料を使用している上位独占となり、今後ますますヤナセオートシステムズにおける水性塗料の導入の推進を確信できる結果となりました。



【乗原競技審査委員長より本大会の競技審査方法及び総評を説明】

表彰式後に、本大会の乗原競技審査委員長より競技審査方法及び総評の説明を行いました。この説明では、完成したパネルの品質はもとより、安全な作業方法、メーカーの作業マニュアルの確認や作業工程など輸入車メーカーの指定工場として相応しい作業内容であったか中心に審査を行ったことを説明した。

また、今後弊社が目指す水性塗料の全面導入に向け、一定の評価が得られたことなどの説明がありました。



【梶浦常務取締役BP統括部長より大会のお礼のご挨拶】

また、閉会式において弊社常務取締役BP統括部長梶浦より本大会に際し、多くの企業様から協賛を頂いたことについて、御礼のご挨拶がありました。また、今後は、弊社の全国ネットワークである「YANASE The Bodyshop Network 加盟工場」向けの技術大会の開催を示唆する説明がありました。

【協賛企業】（五十音順）

株式会社あいおいニッセイ同和自動車研究所様
オーディジャパン株式会社様
アクサルタコーティングシステムズ合同会社様
株式会社イヤサカ様
株式会社エムエスジャパンサービス様
テュフ ラインランド ジャパン株式会社
株式会社日刊自動車新聞社
株式会社バンザイ
ピーピージージャパン株式会社
株式会社プロトリオス
メルセデス・ベンツ日本株式会社
株式会社ユーボン